

政策名	4環境にやさしい港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課 (港営部)関連事業担当 管財課、港湾管理事務所
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり				
個別施策名	18港湾エリア(臨港地区、港湾区域)を適正に開発・利用する		連絡先	052-654-7871	
事務事業名	04ゴミの不法投棄対策の推進				

1 PLAN(目的・概要)

目的	不法投棄されたゴミを適切に処分し、不法投棄されがたい環境を整えます。	事業期間	平成13年度～継続
概要	ゴミの不法投棄の削減・抑制対策として、臨港地区のパトロールや一斉清掃を行い、投棄しがたい環境づくりを実施します。	根拠法令・要綱等	港湾法
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は、西部地区において、地元企業及び自治体の協力のもと、2回の一斉清掃を行いました。 ・23年度も引き続き、ゴミの不法投棄の削減・抑制対策に努めます。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
西部地区一斉清掃	単位	目標	2	2	2	2	2	2	西部地区において、地元企業及び自治体の協力のもと、一斉清掃を実施します。
	回	実績	2	2	2	2			
事業費	単位	目標							
		実績							
人員	正規職員	単位	千円	5,710	14,348	10,569	10,590	10,109	
			人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
人員	嘱託職員	単位	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費・人件費の合計	単位	千円	1,737	1,754	1,716	1,696	1,753		
			7,447	16,102	12,285	12,286	11,862		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
不法投棄されたゴミの処分量	単位	目標	199	141	127	135	194	-	ゴミの処分量の推移を把握することで、不法投棄対策の効果を検証します。 21年度には、T3整備地のゴミ処分量が含まれます。 23年度目標値≒(過去3年間平均実績値)×0.9 達成率(%)≒(目標値-実績値)/目標値×100
	トン	実績	157	149	273	225			
	達成度○/×		○	×	×	×			
	単位	目標							
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
	観点	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	(有)・無							H13.4～不法投棄情報の収集のため「ゴミ110番」を開設しました。
	目的・水準の妥当性	有・(無)							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	(有)・無							
	成果の達成度	有・(無)							
効率性	内容の妥当性	有・(無)							
	実施主体の妥当性	有・(無)							
	受益者負担の適正性	有・(無)							
経済性	(有)・無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	港湾環境づくりにはゴミ処理は不可欠であり、引き続き成果を維持していく必要があるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			

引き続き、定期的な臨港地区のパトロール、不法投棄されたゴミの適切な処理、県民や事業者への啓蒙活動等、投棄しがたい環境を整えることでゴミの不法投棄の削減・抑制対策に努めます。